科目ナンバリング	U-LAS03 10001 SB48						
授業科目名 <英訳>	外国文献研究（全・英）-E1 ：ビジネスのための情報システム Readings in Humanities and Social Sciences (All Faculties, English)-E1 :Information Systems for Business			担当者所属職名・氏名	学術情報メディアセンター 教授　　岡部　寿男		
群	人文・社会科学科目群	分野(分類)	外国文献研究		使用言語	日本語	
旧群	C群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習（対面授業科目）
開講年度・開講期	2025・後期	曜時限	月1	配当学年	２回生以上	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

情報システムの概念、ビジネスにおける情報システムの利用、そしてビジネス上の競争優位を得るために情報システムをどのように利用できるかについて書かれたオンライン書籍、Information Systems for Business and Beyondを講読し、情報システムとは何か、情報システムがもたらす戦略的優位性、組織を超えた情報システムのあり方などについて、さまざまな観点から考察する。

[到達目標]

・比較的平易な英語で書かれた技術的な文章を読む力を身につける。
・機械翻訳ツール等を積極的に活用した英文和訳に習熟する。
・さまざまな情報システムとビジネスでの利用について基礎的な知識を得る。

[授業計画と内容]

第1回：イントロダクション
　授業の概要、目的、教科書ならびに授業の進め方の説明、機械翻訳ツールを活用した英文和訳の解説
第2回：講読（“ Chapter 1: What is an information system? ”）
第3回：講読（“ Chapter 2: Hardware ”）
第4回：講読（“ Chapter 3: Software ”）
第5回：講読（“ Chapter 4: Data and Databases ”）
第6回：講読（“ Chapter 5: Networking and Communications ”）
第7回：講読（“ Chapter 6: Information Systems Security ”）
第8回：講読（“ Chapter 7: Does IT Matter? ”）
第9回：講読（“ Chapter 8: Business Processes ”）
第10回：講読（“ Chapter 9: The People in Information Systems ”）
第11回：講読（“ Chapter 10: Information Systems Development ”）
第12回：講読（“ Chapter 11: Globalization and the Digital Divide ”）
第13回：講読（“ Chapter 12: The Ethical and Legal Implications of Information Systems ”）
第14回：講読（“ Chapter 13: Future Trends in Information Systems ”）
《期末試験》
第15回：フィードバック

[履修要件]

スタート時点ではコンピュータや情報システムに関する知識は必要ではない。授業中必要になる知識については、授業内で適宜補足する。

[成績評価の方法・観点]

毎回の予習課題：40%

外国文献研究（全・英）-E1 ：ビジネスのための情報システム(2)へ続く↓↓↓

授業での発表：30%
レポート課題ならびに期末テスト（レポート試験）：30%

[教科書]

David T. Bourgeois, James L. Smith, Shouhong Wang, Joseph Mortati 『Information Systems for Business and Beyond』（Saylor Academy, 2019）（https://digitalcommons.biola.edu/open-textbooks/1 ）
教科書は、Creative Commons Attribution-NonCommercial 4.0 International Licenseに基づき、原作者のクレジット（氏名、作品タイトルなど）を表示し、かつ非営利目的であることを主な条件に、改変したり再配布したりすることが許されている。

[参考書等]

（参考書）
必要に応じて資料を学習支援システムPandA https://panda.ecs.kyoto-u.ac.jp/portal を通じてオンライン配布する。

[授業外学修（予習・復習）等]

・予習として、授業で扱う範囲のテキストを機械翻訳を活用して和訳する。
・発表担当分について訳出上のポイントについて説明できるようにしておく。

[その他（オフィスアワー等）]

・質問等は学習支援システムPandAを通じて随時受け付ける。要望があればZoom等を利用してのオンライン面談にも対応する。

[主要授業科目（学部・学科名）]